

「地域別研総合防災研修」の課題と対応案

資料2-2

平成30年1月19日

区分	資料2-3のページ	No.	課題	対応方針(案)
カリキュラム	アンケート②事前	7上 8上	1 期待されている内容とカリキュラムの内容が合っていない。 ○災害対策本部の運営(体制、運営方法等) ○防災対策や災害対応の事例・経験談・教訓	カリキュラムや講義内容のレベルについては、次年度の「地域別総合防災研修の在り方検討」において検討する。
	④最終日アンケート	23上	2 「スペシャリスト養成研修」で連想される研修レベルと実際の講義内容のレベルが合っていない。 ○基本的な内容が多い。 ○災害時の対応を突き詰めた研修にしてほしい。	
		23下	3 講義に追加してほしい内容がある。 ○法体系 ○ハード整備 ○避難所の指定 ○避難行動要支援者名簿 ○自主防災組織 ○実際に現場で活動した方の意見 ○現場研修(地方の市町村の防災担当部署の現状や対策等) ○OJT研修の説明	
		23上	4 講義内容は概要が多く、もの足りない。 ○もっと掘り下げた内容を勉強したい。 ○実災害からの教訓等について訊きたい。 ○「応用編」などがあるとよい。	
講義内容	③単元別アンケート	10	5 講座の内容の満足度が低い単元がある。	各単元の講師にアンケート結果(参考添付資料参照)を早い段階で提示して、講義の仕方や内容に反映し改善をお願いする。 過去の講義で受けた質問内容を整理して、講義資料や説明内容を見直す。
研修期間	アンケート④最終日	23上	6 習得する内容が多く、研修期間・時間が足りない。 ○「3日間程度は必要」「もどって復習する」といった意見も多い。	研修の期間については、次年度の「地域別総合防災研修の在り方検討」において検討する。

区分	資料2-3のページ	No.	課題	対応方針(案)
人的ネットワーク	④ 最終日アンケート	22上	7 半分弱の受講者が、人的ネットワークを作れなかったと感じている。	演習の班のメンバーを演習ごとに変えたり、名刺交換を促すなど、人的交流を図るための方法を検討し、実施する。
		23下	8 参加者同士の意見交換・交流の時間が足りない。 ○演習を増やして意見交換の場を設ける ○1日目の終了後の懇親会・交流会 ○情報交換の場	
運営	④ 最終日アンケート	18上	9 会場によって空調が使えないため、会場内の温度調節ができない場合がある。	会場の空調の状況を箇所毎に確認し、使えない場合は、服装等で体温調節していただけるよう事前をお願いする。
		23上	10 遠方から来る受講者にも配慮し、開始時間・修了時間調整してほしい。 ○1日目の閉会時間を少し遅く、2日目の終了時間は早めのほうがよい ○開始時間が早めのほうがよい(8:30～又は9:00～) ○終了時間が17:30は少し遅い	開始時間・終了時間については、実施都道府県と相談のうえ、受講者に配慮した時間となるよう調整する。
修了者	① 修了者数等のまとめ	1上	11 応募者数に比べて修了者数が減ってしまう。	県庁内で実施する場合は、県庁職員の受講者が研修中に入出入りするため、修了者が減る傾向にあると思われる。開催県の担当者に、受講者は出来るだけ全単元を受講していただけるようお願いする。
テスト	⑤ 確認テスト	26上	12 確認テストの設問のうち、 <u>正解率が70%未満のものがある。</u>	標準テキストに合っているか、誤解をまねく表現になっていないかなど確認し、必要ならば問題を見直す。講義でしっかり教える様、講師と調整する。
委員からの個別指摘事項			13 <u>事前アンケートについて、「期待することや習得したい内容」を訊いても、それを生かしていないためアンケートから削除するか見直しが必要ではないか。</u>	設問の目的を整理し、目的が達成されるように改善する。 当該研修では反映できないが、次回以降に改善できる場合は、「記入事項は今回の研修では反映できないが、来年度以降の参考とする」などと明記する。 来年度以降も含めて改善できない場合は、質問自体を事前アンケートから削除する。

区分	資料2-3のページ	No.	課題	対応方針(案)
委員からの個別指摘事項 (つづき)		14	単元「地域の災害特性」について、内容的な偏りがある。(今回の場合、静岡での開催で、風水害「のみ」というのは問題。)	管区气象台等に出講依頼する際に、地震・津波災害、風水害、火山災害について、地域に応じた講義をしていただくようお願いする。
		15	単元「被災者支援の枠組み」について、内容が「災害救助法」のみである。せめて、被災者生活再建支援法と、罹災証明書の交付については取り上げた方がよいのではないか。	次年度、カリキュラムの検討において対応方法を検討する
		16	「有明の丘研修」の「防災基礎」は、標準テキストの整備過程で研修の構成や内容のブラッシュアップを進めたが、「地域別総合防災研修」では進められていない。	次年度に地域別総合防災研修の在り方を検討するなかで検討する。
		17	「地域別総合防災研修」の「防災行政(全体概要)」は防災についてどうことを学ぶのが重要であり、総論の標準テキストの内容を話して頂きたい。	次年度への改善に向け、単元「防災行政(全体概要)」の進め方について、多方面から比較検討する。
		18	「地域別総合防災研修」の受講者は、過半数が「有明の丘研修」の「防災基礎」コースと同じレベルの人(防災の初任者や防災の経験の浅い職員)で、且つベテランの人も来る。ベテランの人が不満を持たないように研修の冒頭で「本研修はどちらか」というと初歩の人向けである」ことを説明した方がよい。	研修のオリエンテーション時に、「地域別総合防災研修」の位置づけ、カリキュラム内容、学習目標について説明する。